

## ■ 水田 賢 先生

平成27年度特別プログラム研修医 水田 賢

初期研修は、医師としての働き方のスタイルができる期間であるため、その施設選択は重要です。雑誌などでは、大学病院と市中病院の違いがよく特集されていますが、その内容は強ち間違っていない。大学病院である京大病院では、各科にトップレベルの先生方が在籍され、またカンファレンスも多いため、症例の考え方・まとめ方に関する手厚い指導を受けることができます。学会発表を私も経験し、その際、丁寧に細かく指導をして頂きました。症例に関しては、稀な疾患・困難なものが集まる一方で、一般的な症例の経験は少なくなる傾向があります。京大病院の場合、これらの大学病院特有のポイントが、他の大学病院と比較して顕著かもしれません。

これらの特徴がメリット・デメリットになるかは、個々人が目指している進路により異なります。「〇〇病院にした方が良い」とアドバイスを受けても参考程度にとどめ、最終的には自身で熟考し決定すべきです。特に今後は、新専門医制度を見据えての初期研修病院の選択が重要になるため、過去の意見はあまり役立ちません。

京大病院での研修を考えている方はもちろん、全く進路を考えていない方も、一度気軽に見学へお越しください。京大病院の研修プログラムの特徴は、非常に自由度の高いシステムを採用していることです。2年次には、実に11ヶ月もの自由選択期間があり、それぞれの希望に応じてローテーションが組まれます。私も将来の目標に合うように科の選択を行い、有意義な研修生活を送っています。そのため、進路未定の方や基礎医学の大学院進学を検討されている方にも、京大病院での研修をお勧めします。是非みなさん、京大病院での研修を考えてみてください。

